

中川正春の

永田町かわら版

2023/8/28 第391号

○衆議院選挙への挑戦 3人の新人決まる

次の衆議院選挙に向け、三重1区、2区、4区に、挑戦していく新人が決まりました。

津市と松阪市の三重1区は、福森 和歌子（ふくもりわかこ）さん（53歳）。伊賀市生まれ。小中高と津市。高田高校を卒業後、早稲田大学商学部に進学、電通を経て独立、マーケティングコンサルタントとして活躍。後期高齢者となったご両親と接する中、地元に戻り、政治に挑戦して、時代を変えたい。特に、地方の抱える問題、福祉政策や働く女性の抱える問題などの分野に取り組んでいきたい、ということです。今の私の選挙区である三重2区（四日市市、鈴鹿市、亀山市、伊賀市、名張市）は、鈴鹿市選出の県議会議員（現4期目）の下野 幸助（しもの こうすけ）さん（46歳）。鈴鹿市生まれ、鈴鹿高専を卒業後、豊橋技術科学大学を経て、内閣官房内閣情報調査室に勤務。慶應義塾大学院でMBAを取得。子育て世代の代表として、日本の少子化問題を克服していくための挑戦に取り組んでいきたい、ということです。

伊勢志摩から紀州にかけての三重4区は、青沼 陽一郎（あおぬま よういちろう）さん（55歳）。長野県生まれ。早稲田大学卒業後、テレビ報道、番組制作の現場を経て、フリージャーナリストに転身。オウム真理教の一連の裁判や、東南アジアの残留日本人兵、日本の食料安全保障など、ルポタージュは多数。伊勢は、日本の原点。ここから政治に挑戦し、社会に問うていきたい、ということです。

三者三様、個性際立つ新人が集まりました。新生・立憲みえのチャレンジが始まっています。

○任期の最後まで、挑戦を続けます

私の任期は、まだあと二年。衆議院の解散は、いつあるのかわかりませんが、任期いっぱい最後の仕事として、3つの課題に取り組んでいます。

一つは、憲法。護憲か改憲かしかない入り口議論を脱皮したい。平和を守る、民主主義を守ることは、原点です。特に、人権に関わる課題では、憲法への加憲に踏み出すこともしていくべきだと考えています。二つ目は、日本語教育。先の国会で成立した法律が、目標通りに運用されるためには、教育現場の改革と、

入管法の改正が必要です。三つ目はミャンマー。長年取り組んできたミャンマーの民主化運動が、軍のクーデターで頓挫しています。民主化勢力や少数民族のために日本政府が動ける枠組みを模索する。挑戦を続けます。

○憲法審査会、ヨーロッパへ

憲法審査会で、ヨーロッパを訪問しました。EUという、国家を超えた統治機構や集団的安全保障を前提とした体制の中で、憲法がどのような役割を果たしているのか、いい議論が出来たと思います。

中でも、ロシアと国境を接するフィンランドの人々の思いは、重い緊張感の中で深刻に伝わってきました。過去に、ロシアやスウェーデンに統治された歴史を克服して独立建国した経緯の中で、フィンランドは、ロシアの傘下にも西側のNATOにも入らずに中立を貫いてきました。この中立を維持していくことの覚悟は、街の隅々まで掘られた、核シェルターに表れていると思いました。ヘルシンキの中央にある3,000人を一週間収容できるシェルターを見学しました。各集合住宅にもシェルターを備えることが義務付けられています。イザという時に、国民の80%を収容できる準備はある。「専守防衛の基本はシェルターから始まる」ということを、力を込めて説明する消防職員の言葉が、胸に響きました。そのフィンランドが今回は、スウェーデンと共に、NATOに入る決断をしました。これに伴う憲法改正の論議は、国政選挙と共に二回にわたり国民に問われました。一回目は、改正試案を次の国政選挙の争点として打ち出すべきかどうか問われ、そこで多数決を得た改正案が、次の選挙で5/6以上の賛成をもって、可決されました。

フィンランドが中立主義の専守防衛から、NATOの集団的安全保障の枠組みに入りました。防衛政策を大きく転換することになった国民の重大な決断だったと思います。これによって、NATOに入っていないウクライナとは違い、ロシアが、フィンランドに対して、ことをなす時には、ヨーロッパやアメリカをも直接敵に回すことになります。

日本にとっての教訓が二つあります。アジアではNATOのような多国間の集団安全保障体制がありません。その代わり、日米安全保障条約に基づいて、アメリカが日本を守ってくれます。今回は、北朝鮮のミサイル開発に刺激され、日本も反撃能力を備えたミサイルを保有しようという議論になっています。専守防衛が崩れてきました。「国民の命を守る」ということが防衛の基本であるとすれば、本当の危機感に基づく選択肢は、フィンランドのように、まず、核シェルターの設置から始めるべきだという思いに至りました。この議論が出てこないままに、いきなり軍事力だけに頼り、トマホークをアメリカから買おうという発想は、我々の自国防衛に対する覚悟も本物ではないと言われそうです。

【編集元】衆議院議員中川正春事務所

E-mail: nakagawa@cronos.ocn.ne.jp

ホームページはこちらから→

三重/〒513-0801 鈴鹿市神戸7-1-5

TEL: 059-381-3513/FAX: 059-381-3514

東京/〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館519号室

TEL: 03-3508-7128/FAX: 03-3508-3428



寄附のお願い～中川正春の政治活動を財政面からご支援いただける方からのご寄附をお受けしています。ご協力よろしくお願いたします